

診療放射線科通信

『腹部超音波検査を健診で受けたけど何を見てるの？何がわかるの？』

— 『健診』と『検診』 —

健診とは

健康診断は特に自覚症状がない人が、自分の健康状態を知って健康上の問題がなく社会生活が正常に行えるかどうか判断しています。

検診とは

特定の疾患の有無を確認する事。代表的なものはがん検診。

健診時の超音波検査

脂肪肝や動脈硬化などの将来のリスクを確認する【健診】と肝臓がんや腎臓がんなどの任意型がん検診に加えて、胆石などの疾患の有無を確認する【検診】との意味を併せ持った内容となっています。

具体的な観察項目

当健診センターでは肝臓、胆嚢、胆道、膵臓、腎臓、脾臓が対象臓器です。観察して正常との違いを見つけています。臓器の見た目[形、サイズ、臓器の濃淡(白黒)の程度]、腫瘍の有無、前回結果との比較等を観察しながら行っています。

腹部超音波検査で発見率の多い疾患

- ◆ 脂肪肝
発見率は最も高く、圧倒的に男性に多い
- ◆ 胆嚢ポリープ
全体の10数%程度の発見率
- ◆ 胆石
全体の4%前後の発見率、
加齢とともに保有率は上昇する

